

## 平成 26 年度県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会概要議事録

開 催 日：平成 27 年 1 月 22 日（木）

開催場所：盛岡市勤労福祉会館 4 階 401・402 会議室

開催時間：午前 10 時 30 分から午前 11 時 35 分まで

傍 聴 者：一般傍聴者 8 名，報道機関 2 社

次 第：1 開 会

2 あいさつ

3 報 告

(1) 広域化の状況について

(2) 平成 25 年度協議会事業報告及び決算報告について

(3) 専決処分の報告について

(4) 平成 26 年度協議会事業中間報告及び決算見込みについて

(5) パブリックコメント等の結果について

4 協 議

(1) 県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想（案）について

(2) 平成 27 年度協議会事業計画（案）及び予算（案）について

(3) 協議会規約改正（案）について

5 そ の 他

6 閉 会

### 会議結果・要旨

発言者	内 容
根本環境部次長	1 開 会 事務局から開会を宣言
谷藤盛岡市長	2 あいさつ 本日は御多忙のところ，御出席を賜り感謝申し上げます。御出席の皆様には，これまで県央ブロックの広域化推進のために貴重な御意見を頂戴し，会の運営に御協力を賜りましたことに重ねて感謝申し上げます。

<p>谷藤盛岡市長</p> <p>大泉岩手県資源循環推進課総括課長</p> <p>田村八幡平市長</p>	<p>本日の協議会開催に向けましては、これまで部会や幹事会を開催し「県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想」の内容について、調査検討を重ねてまいりましたほか、パブリックコメントや現有施設周辺において説明会を開催し、住民の皆様の御意見をお伺いしてきたところで</p> <p>す。</p> <p>本日は、これまでの協議の内容とパブリックコメントの結果について御報告させていただき、県央ブロック 8 市町の今後のごみ・し尿処理及び施設整備等の施策に係る重要な方向性を示す「県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想」の内容について御協議いただくほか、平成 27 年度の事業計画等についてお諮りしたいと考えております。</p> <p>結びに、今後とも本協議会の事業運営につきまして、御指導、御協力を賜りますようお願いを申し上げます、簡単ではございますがあいさつとします。</p> <p>3 報 告</p> <p>協議会規約第 5 条第 1 項の規定に基づき会長が議長となり議事進行</p> <p>(1) 広域化の状況について</p> <p>[岩手県から説明]</p> <p>平成 11 年 3 月に策定した「岩手県ごみ処理広域化計画」は、コストの低減や、排熱等の未利用エネルギーの有効活用、リサイクルの推進などの観点からも合理的な計画であることから、計画の見直しは不要と考えているが、平成 29 年度を目標年次とすることについては今後変更する必要があるものと認識している。</p> <p>また、平成 24 年 11 月 1 日付けの環境省事務連絡では、ごみ処理広域化計画と地域計画の整合性について発せられ、交付金事業採択の際、計画が合致するものを優先し、合致しないものは劣後することが考慮されている。</p> <p>自治体が単独でごみ処理施設を整備した場合は交付金の可能性はないものと理解してよいか。</p>
--	--

<p>大泉岩手県資源 循環推進課総括 課長</p>	<p>広域化は合理的なごみ処理事業運営を目指すもので、離島などの収集効率や建設コストなどをトータルで検討する必要がある、施設を統合することに合理的な結果が得られている中で、単独で整備することになると国の理解は得られないのではないかと考えている。</p>
<p>中村廃棄物対策 課長</p>	<p>(2) 平成 25 年度協議会事業報告及び決算報告について (3) 専決処分の報告について (4) 平成 26 年度協議会事業中間報告及び決算見込みについて [一括して事務局から説明]</p>
<p>中村廃棄物対策 課長</p>	<p>(5) パブリックコメント等の結果について [事務局から説明]</p>
<p>中村廃棄物対策 課長</p>	<p>4 協 議 (1) 県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想（案）について [事務局から説明]</p>
<p>田村八幡平市長</p>	<p>追加ケースの比較条件はどのように設定したのか。</p>
<p>中村廃棄物対策 課長</p>	<p>盛岡市のクリーンセンター公害防止対策協議会からの意見に基づき、施設規模を施設更新時の平成 41 年度のごみ処理量により 500 t/日に統一したほか、炉の方式も統一したものである。また、比較期間を平成 26 年度から 55 年度までの 30 年間と、70 年度までの 45 年間について各ケースを比較した。</p>
<p>田村八幡平市長</p>	<p>市民負担の観点からも、一本化で計画通りにやれば非常にコストの削減になるため、広域化を進めてほしい。</p>

熊谷紫波町長	<p>紫波町もごみの減量化に長年取り組んでいるが、減量の取組みが後退してはならない。また、パブリックコメントにもあったが、ごみが1箇所集まることによって、集約先の地域にだけ負担が大きくなるという懸念の声もあるが、どのように対応していくのか。</p>
中村廃棄物対策課長	<p>ブロック内のごみを受入れる建設地域の環境負荷の軽減を図るため、法律で定められた排出基準より厳しい基準の設定を検討し、周辺住民への影響の低減に配慮したいと考えている。</p> <p>また、運搬車両の増加による施設周辺の環境負荷及び交通量の増加が予測されるため、中継施設を設置して車両の削減を図るなど検討する。</p> <p>いずれ、基本方針の中に3Rの推進についても掲げており、ブロック全体でごみの減量・リサイクルに取り組むこととしている。各構成市町においても廃棄物を受入れる地域の負担軽減のためにも、これまで以上の減量・リサイクルへの取組みが必要になるものと考えている。</p>
熊谷紫波町長	<p>一本化するとなれば地元へ大きな負担がかかることから、ごみの減量化をお願いして、その地域にできる限り負担をかけないよう明記しながらやってほしい。</p>
川村矢巾町長	<p>岩手県から説明があったが、交付金の活用というのが一番重要だと思う。県計画との整合性について岩手県の見通しを伺いたい。</p>
大泉岩手県資源循環推進課総括課長	<p>県央ブロックの広域化に向けて様々なパターンの検討結果、広域化が最も合理的となれば、それを踏まえて国に対する説明を行い、そうした限りにおいては、特段支障が生ずることはないと考えている。</p>
川村矢巾町長	<p>この交付金の活用もできることが一番重要なポイントとなるので、確実に交付金が受けられるよう、集約一本化を選択すべきだと思う。</p>

田村八幡平市長	<p>住民負担を少なくするためには、広域化がベストな方法ではないかと思う。</p>
谷藤盛岡市長	<p>各首長から、集約化への御意見をいただいたが、構想（案）では、3Rの推進、環境負荷の軽減、災害対策の強化、効率的な廃棄物処理システムを基本方針として掲げており、これらの実現に向かっていくためにも、構成市町が連携し、ブロック内でごみ処理全体に係る施策の推進を一体的に取り組み、効率的なごみ処理を図っていく必要がある。</p> <p>また、盛岡広域圏においては、近い将来、人口減少が進んでいく中で、各市町における財政負担の軽減と環境の安全のためにも、広域での連携した取り組みが必要と思われる。</p> <p>そのひとつとして、ごみ処理の広域化についても、今後とも住民の意向の把握に努め、住民の理解を得ながら、ブロック全体の循環型社会の形成を目指していく必要がある。</p> <p>なお、この基本構想では、目標の達成状況や社会情勢の変化等を踏まえた計画の見直しについての記載もあることから、今後においては、そういった情勢の変化も注視していかなければならないものと考えている。</p> <p>本日の協議の中では、ごみ焼却施設など広域化の方向性について、皆様の同意を得られましたので、広域化基本構想（案）について、了承するという方向でよいか。</p>
各首長	<p>異議なし</p>
谷藤盛岡市長	<p>承認する。</p> <p>今後は、本日承認された広域化基本構想を基に、具体的な作業を進めていくことになるが、住民福祉の向上のため、これまで以上に8市町が一体となって事業の推進を図る必要があることから、今後とも協力をお願いする。</p>

中村廃棄物対策課長	(2) 平成 27 年度協議会事業計画 (案) 及び予算 (案) について [事務局から説明－承認]
中村廃棄物対策課長	(3) 協議会規約改正 (案) について [事務局から説明－承認]
大泉岩手県資源循環推進課総括課長	5 そ の 他 これまで長い年月をかけ、ごみ処理事業運営や環境負荷低減の面から検討いただいていた。おかげさまで、合理的な方向が本日打ち出されたと受け止めている。 県としても、廃棄物処理施設の整備が円滑に進められるよう協力していきたいと思っている。
根本環境部次長	6 閉 会 事務局から閉会を宣言